

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名：地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道203号 厳木バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 九州地方整備局
起終点：起点：佐賀県唐津市相知町長部田 終点：佐賀県唐津市厳木町中島	延長：6.3km	
事業概要：国道203号厳木バイパスは、地域高規格道路である佐賀唐津道路の一部を担う延長6.3kmの道路であり、広域的な交流・連携を支え、物流支援に寄与するものである。		
S59年度事業化		S1年度都市計画決定
S61年度用地着手		S63年度工事着手
全体事業費	約340億円	事業進捗率：90%
		供用済延長：4.2km
計画交通量	15,800～18,900台/日	
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.2
	(残事業)	9.4
総費用	(残事業)/(事業全体)	30/512億円
総便益	(残事業)/(事業全体)	280/633億円
	(残事業)/(事業全体)	（走行時間短縮便益：210/504億円）
	(残事業)/(事業全体)	（走行経費減少便益：43/76億円） （交通事故減少便益：28/53億円）
維持管理費	(残事業)/(事業全体)	5.6/26億円
基準年：平成22年		
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=10.0（交通量+10%） B/C=8.8（交通量-10%） 事業費変動：B/C=8.7（事業費+10%） B/C=10.2（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=9.0（事業期間+20%） B/C=9.4（事業期間-20%）		
事業の効果等		
①地域間の交流・連携の支援 ・企業の進出促進・利便性の向上 ・県内主要都市間のアクセス向上（唐津市～佐賀市の所要時間：約6分短縮）		
②物流の効率化を支援 ・物流機能の向上 ・大型車通行支障箇所の解消（1箇所解消）		
③交通混雑の緩和 ・厳木バイパスへの交通転換による国道203号の交通混雑の緩和 ・国道203号の混雑度の低下（未供用区間：1.71→0.49、既供用区間：1.17→0.05） ・国道203号の損失時間の削減（10.0万人時間/年→3.2万人時間/年） ・所要時間の信頼性の向上による便益【約21億円※】		
④安全性の向上 ・死傷事故率の減少（未供用区間：73件/億台扣→33件/億台扣、既供用区間：41件/億台扣⇒5件/億台扣） ・走行時の安全性向上（急カーブの危険箇所数の解消：1箇所解消）		
⑤救急医療活動の支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮とアクセスが向上する人口（約6分短縮、約8.8万人） ・救急医療活動のアクセス向上便益【約46億円※】		
※は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）		
関係する地方公共団体等の意見 佐賀市をはじめとする4市1町で構成される国道203号佐賀・唐津幹線道路整備促進期成会（会長：唐津市長）等により早期整備の要望を受けている。（平成22年8月）		
県知事の意見： 早期整備を強く望んでいるところであり、継続することについては、異議はありません。 佐賀県では、地域や産業の活性化のため、地域間の移動時間や距離を短縮するとともに、予定している時間どおりに移動・輸送ができるようになることを目指しており、このため、県内の主要都市を結ぶ走行性の高い広域幹線ネットワークの整備が必要です。今回、再評価される厳木バイパスも広域幹線道路ネットワークを形成する道路となっており、引き続き整備を進めていただくため。		

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

当該事業の未供用区間に並行する国道203号では、依然として交通量が多く混雑度が1.71と高い状況にある。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約90%であり、そのうち用地進捗率は約99%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、事業効果を早期発現できるように、引き続き用地買収を促進するとともに、早期供用に向けて事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・当面暫定2車線整備に必要な事業費に見直し【約82億円】
- ・新技術・新工法の積極的活用等により、着実なコスト縮減（厚層基盤材吹付工法→植物誘導吹付工法）

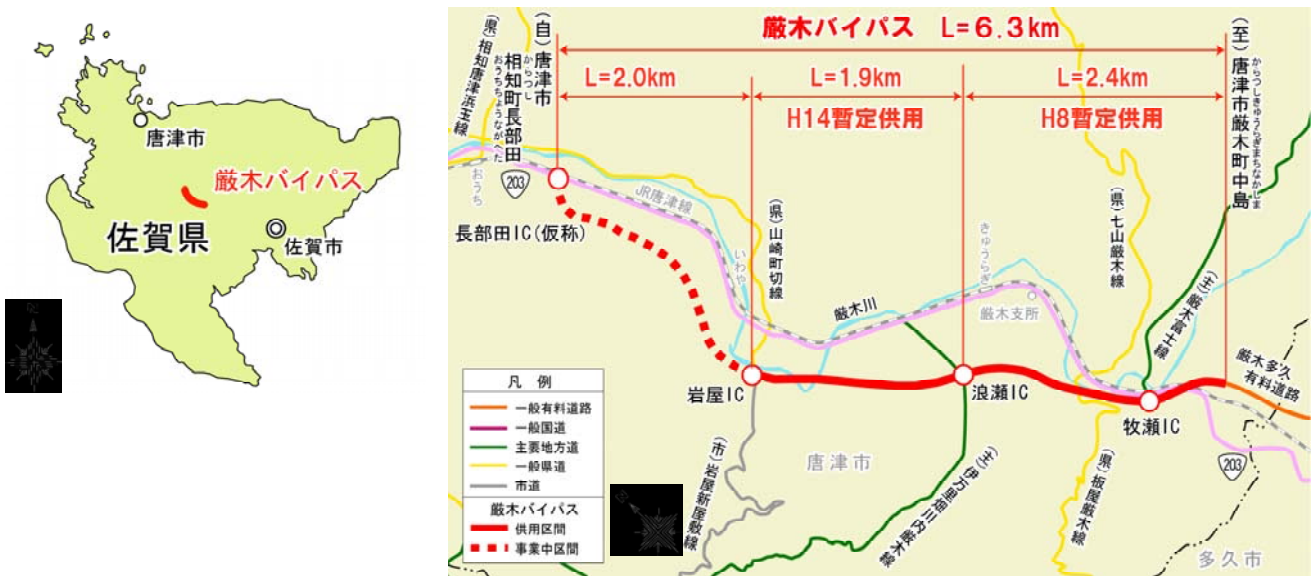
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。